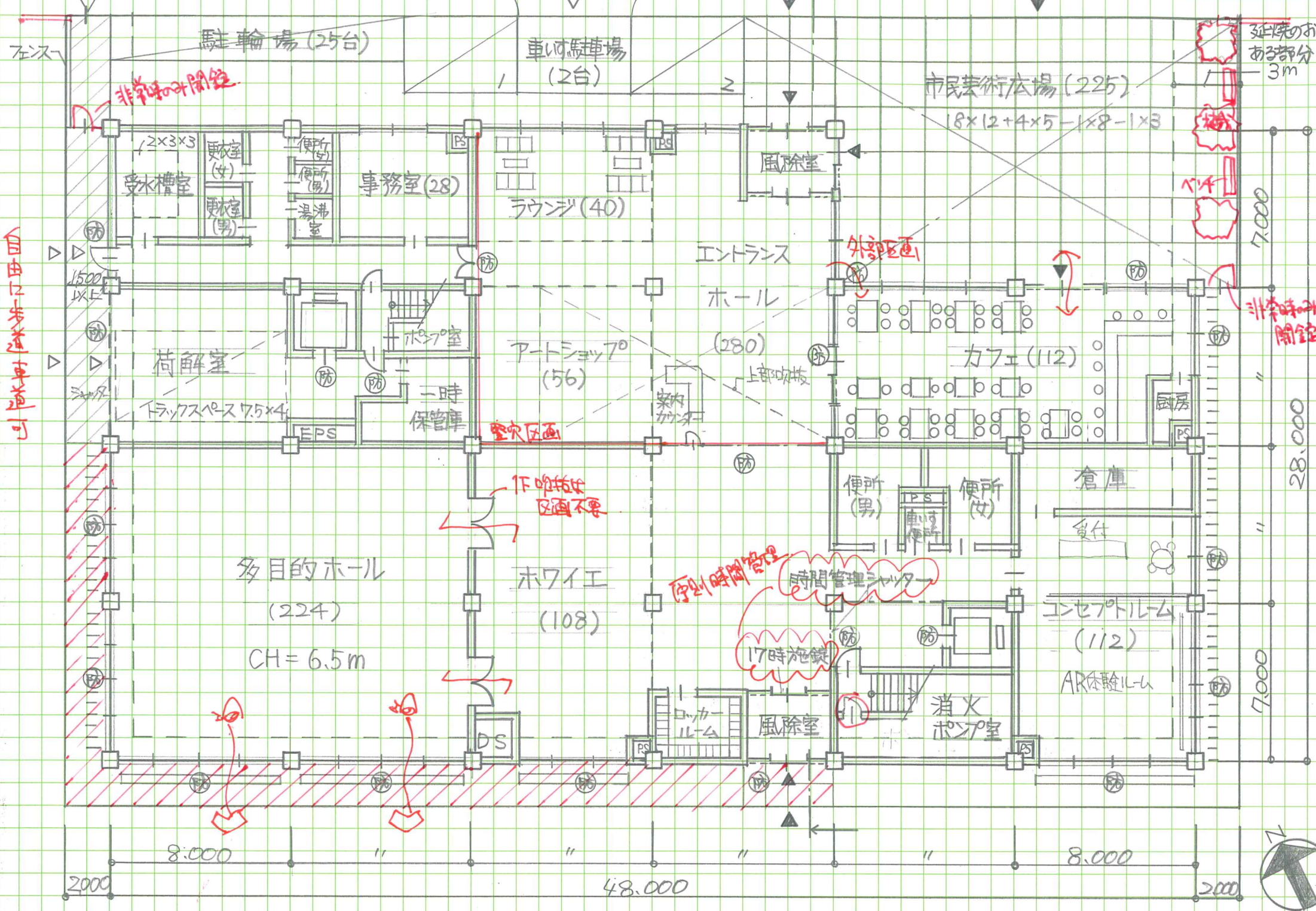
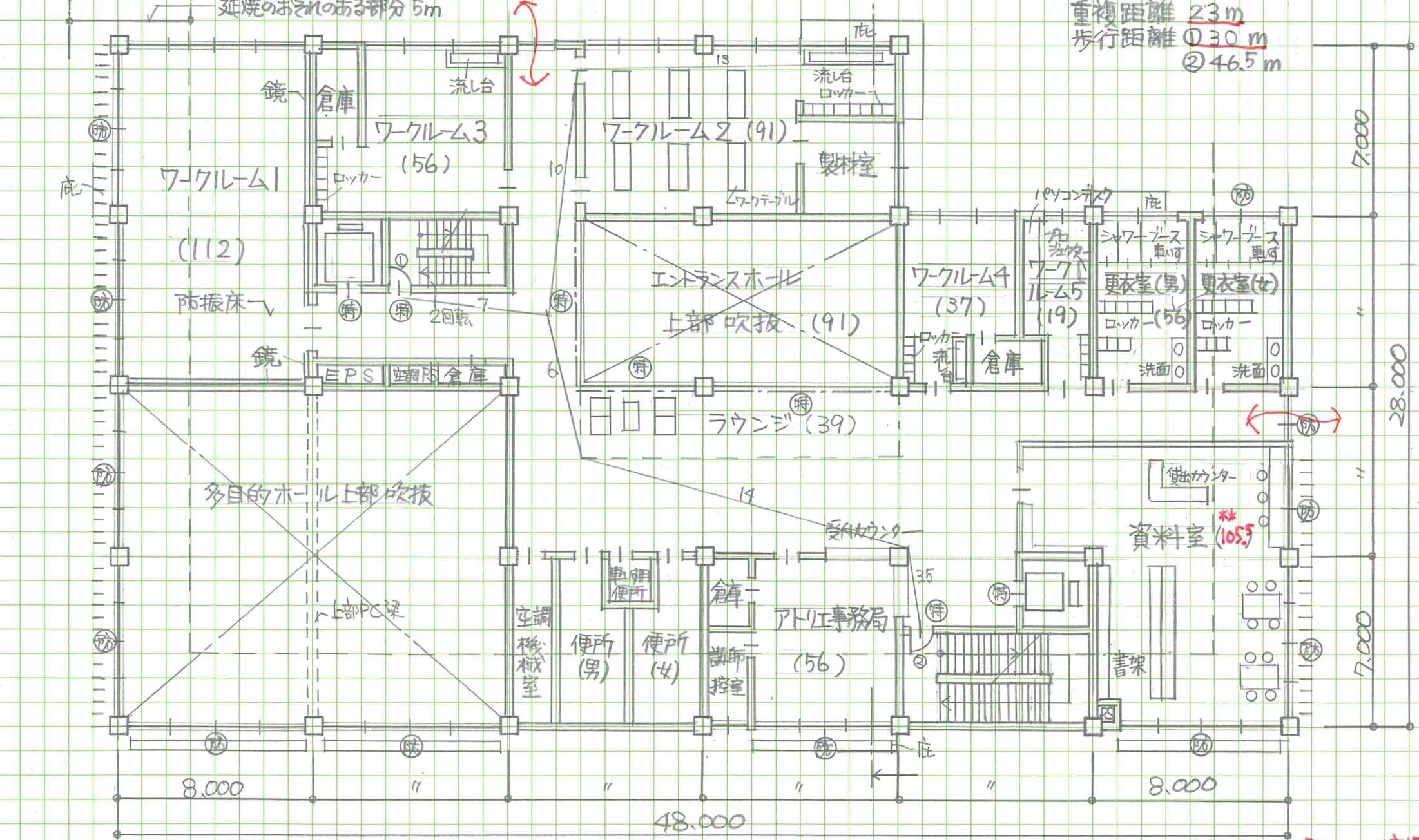


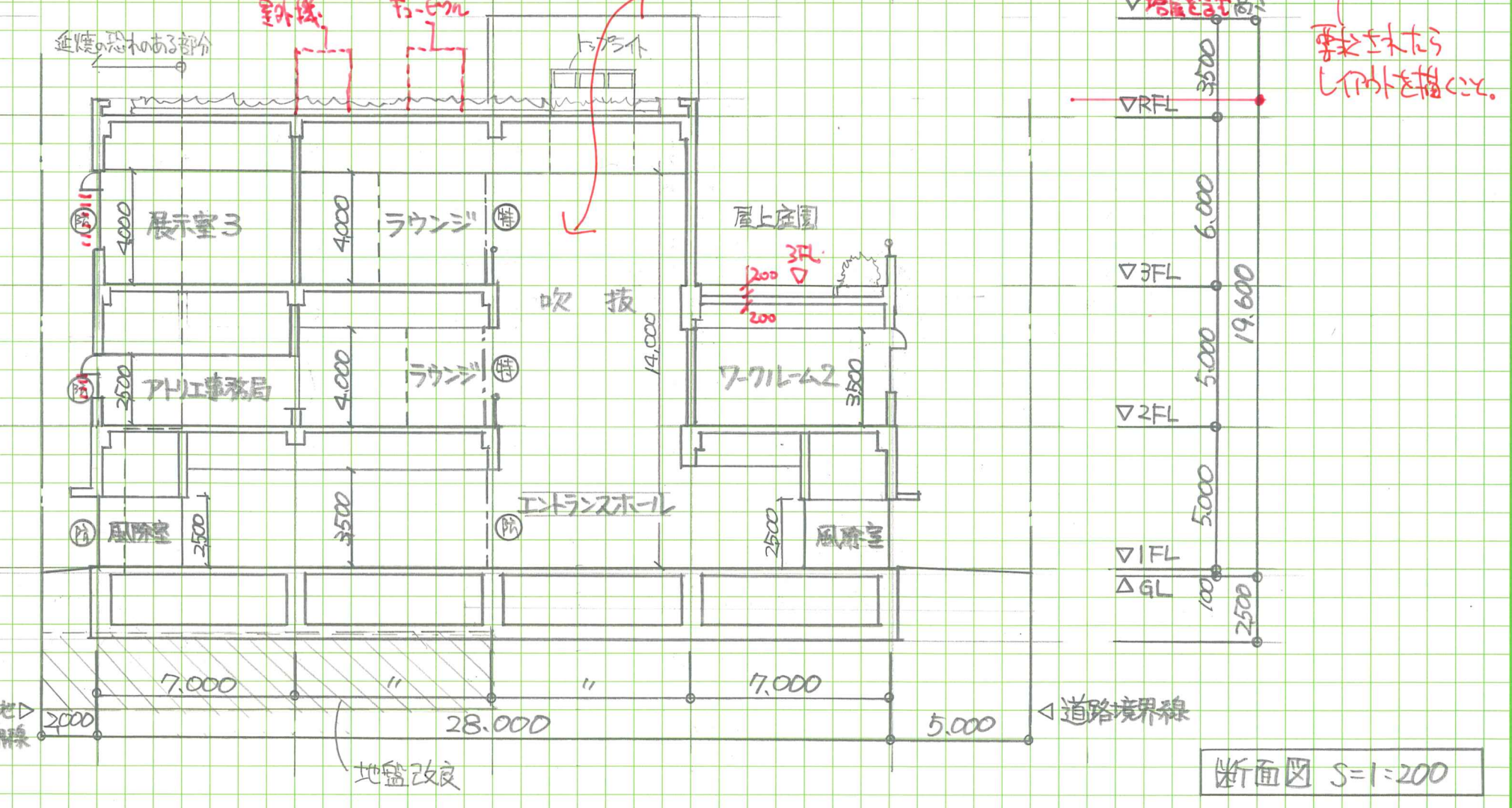
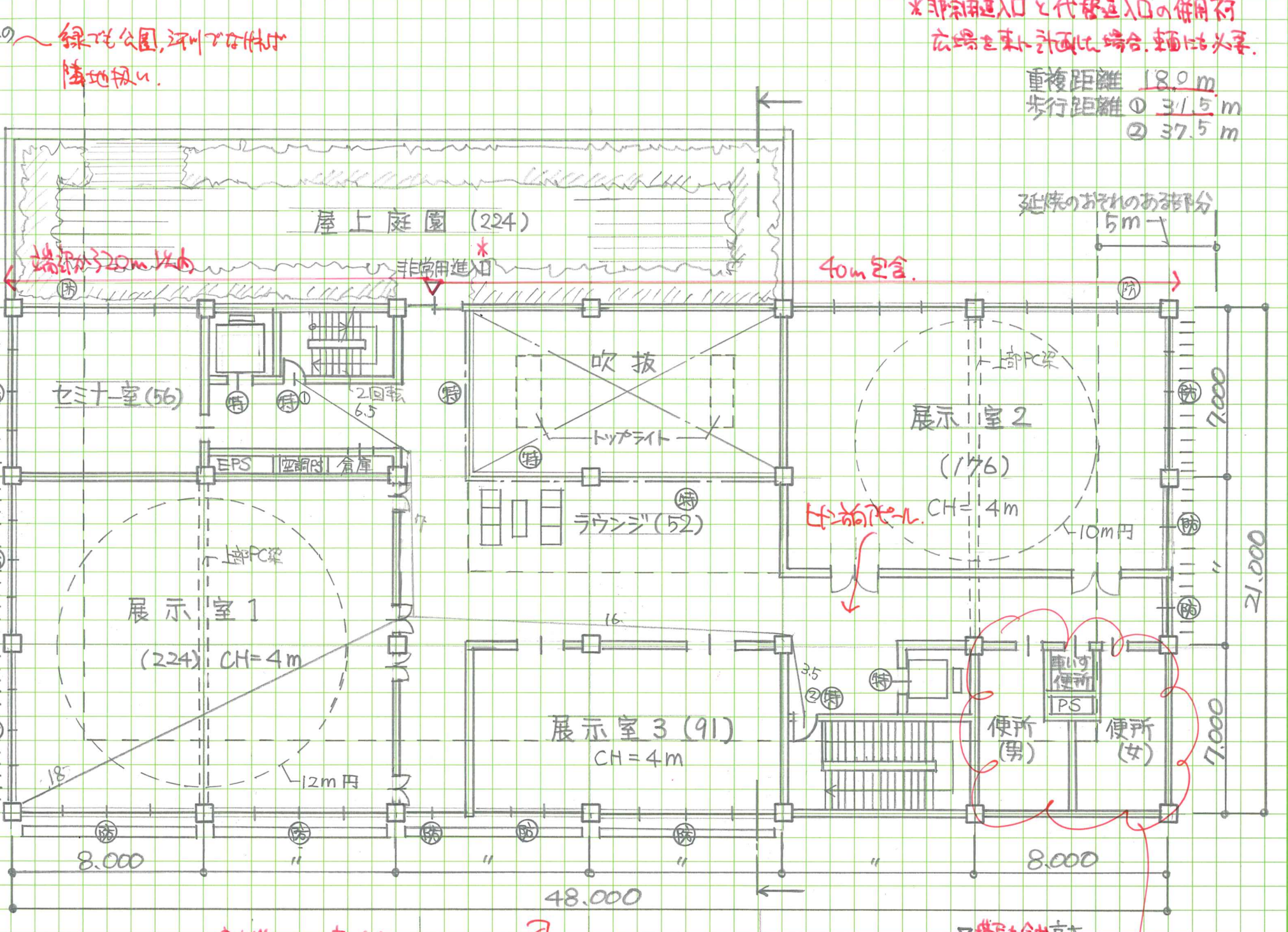
1階平面図兼配置図 S=1:200



2階平面図 S=1:200



3階平面図 S=1:200



|                                                          |                                                  |                |                |         |      |       |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------|----------------|---------|------|-------|
| 面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。) |                                                  | 製図試験.com 答案用紙Ⅰ |                | エスキース   | 提出   | 添削    |
| 建築面積                                                     | (算定式) 32 × 28 + 16 × 21 = 1232                   | 1232           | m <sup>2</sup> | 容積率     | 10/6 | 10/78 |
| 建ぺい率                                                     | (算定式) 1232 ÷ (52 × 35) × 100 = 67.7              | 67.7           | %              | 容積率     | 10/6 | 10/78 |
| 床面積                                                      | (算定式) 32 × 28 + 16 × 21 = 1232                   | 1232           | m <sup>2</sup> | 容積率     | 10/6 | 10/78 |
| 2階                                                       | (算定式) 32 × 28 + 16 × 21 - 16 × 14 - 13 × 7 = 917 | 917            | m <sup>2</sup> | 容積率     | 10/6 | 10/78 |
| 3階                                                       | (算定式) 48 × 21 - 13 × 7 = 917                     | 917            | m <sup>2</sup> | 容積率     | 10/6 | 10/78 |
| 合計                                                       |                                                  | 3066           | m <sup>2</sup> | 容積率     | 10/6 | 10/78 |
| Ver. 1.01                                                |                                                  | okatsuan       |                | ハンドルの名前 |      |       |



|                                                          |  |       |                 |                |              |  |           |  |           |  |
|----------------------------------------------------------|--|-------|-----------------|----------------|--------------|--|-----------|--|-----------|--|
| 面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。) |  |       | 製図試験.com 答案用紙 I |                | エスキース<br>11分 |  | 提出<br>10分 |  | 添削<br>10分 |  |
| 建築面積                                                     |  | (算定式) | m <sup>2</sup>  | 所感             | 要点<br>8分     |  | 枚数        |  | 課題No      |  |
| 建ぺい率                                                     |  | (算定式) | %               |                | 作図<br>8分     |  |           |  | Σno       |  |
| 床                                                        |  | (算定式) | 合計              |                | ID           |  | 310008    |  |           |  |
| ⑤ → ④ 階                                                  |  | (算定式) |                 |                | ハンドルネーム      |  | zone      |  |           |  |
| 積                                                        |  | (算定式) |                 | m <sup>2</sup> |              |  |           |  |           |  |



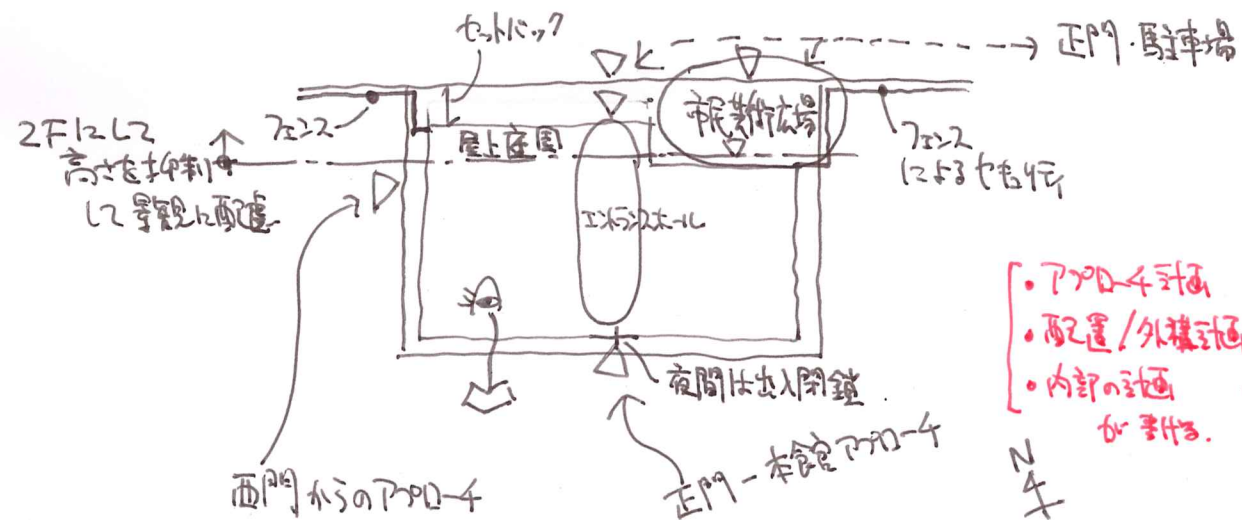
建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。  
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1)美術館本館を含む周辺環境に対して建築物の計画において配慮した点(図を使って説明する)

美術館の広大な敷地北側で計画するにあたり①北側道路に対しては動線計画上アプローチしやすいように②南側本館に対しては、視覚的に開きつつも、時間管理を考えたアプローチを可能とする計画とした。③北側道路からの高さ制限のエリアに屋上庭園を配置し、高さを抑えつつ景観に配慮した。

④美術館敷地において、分館へのアプローチとして計画敷地中央に本館への歩道を、西側にサービス用歩車道を計画した。

図示欄



(2) 1階を24時間利用するために、動線及びゾーニング計画、セキュリティに配慮した点

北側道路に面して24時間開放できるように市民芸術広場を計画した。  
また同広場の一部から分館及びカフェにアプローチできるようにして、その開放性を高めた。  
エントランスホールは案内カウンター及びセキュリティカメラから管理できるようにし、かつ、定時以降は南側風除室及び利用者用階段とエレベーターは管理シャッターで区切って、時間外利用できないように計画した。

(3)コンセプトルームの内容と設えについて具体的に配慮した点

コンセプトルームでは拡張現実(AR)が体験できる室とし、受付、待合、AR体験ルーム及び倉庫を設けた。ARによる転倒や事故を未然に防ぐために、床材はクッション性の高い素材を選定した。  
また大型スクリーンを配置し、ARの取説が行えるよう配慮した。

(4)地盤条件及び経済性を踏まえた上で、採用した基礎構造、その支持地盤について特に配慮したこと  
南側15mの部分が5mまでN値が低いため、このままだと不同沈下を起こす可能性がある。  
そこで南側について、N値が40以上となるように地盤改良を行い、その上で不同沈下に強いベタ基礎を採用した。ベタ基礎の一部は設備トレンチとして利用した。

⑥敷地条件(方位等)や周辺環境に対して、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮した点(3点。図示してもよい)

吹抜け内のトップライトによる自然換気の利用①

吹抜け内のトップライトを使った中間期の自然換気により、空調負荷が大幅に緩和できると考えられる。

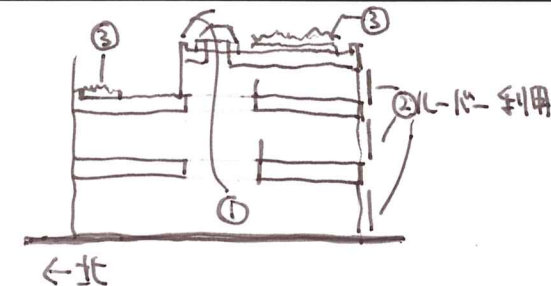
南側水平ルーバー、東西側の垂直ルーバーの利用②

同ルーバーによって、日射を遮蔽しつつ、太陽光を取り入れ、昼間の照明に使う電力消費を抑えられる。

屋上緑化による空調負荷の低減③

屋上緑化により、日射による屋上からの熱流入を防ぎ、空調負荷を減ずることが可能である。

図示欄



⑦排煙計画について配慮した点

極力、排煙機などの機械に頼らず、手動により排煙を行う計画とした。

廊下の排煙については、30m以内に排煙櫓が取れるように廊下の突き当たりには排煙窓を設けた。  
展示室等3m以上の天井高さの部分についてもオペレーター付の排煙窓を設置した。

⑧多目的ホールの照明計画について配慮した点(多目的ホールに図示してもよい)

多目的ホールは天井高が高く、電球の交換に手間が掛かるため、長寿命なLEDランプを採用した。

多目的に利用する想定であるため、様々な照度が出せるよう、照度コントローラーを設けた。

作品展示のためのスポットライトが取り付けられるよう昇降式のライティングレールを採用した。

質問欄

(5) 柱 800×800 大梁 500×800 小梁 300×500 床版 t=200 の出題が2つあり、大梁中に配管が通る。この部分は1カットとします。